

30日死者統計

30日死者の状況

1 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	10月中			10月末		
		増減	比率	増減	比率	増減	比率
	24時間死者	4	-8	1.00	76	-10	1.00
	30日死者	0	-1	0.00	19	-7	0.25
	30日以内死者	4	-9	1.00	95	-17	1.25

○ 全国

死者	区分	9月中			9月末		
		増減	比率	増減	比率	増減	比率
	24時間死者	229	+8	1.00	1,778	-98	1.00
	30日死者	36	-10	0.16	366	-12	0.21
	30日以内死者	265	-2	1.16	2,144	-110	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

2 概要

10月末の県下の「30日死者」は19人（-7人）、「24時間死者」は76人（-10人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は95人（-17人）であり、「24時間死者」の1.25倍となっている。

3 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 神戸10人（52.6%）、阪神5人（26.3%）、西播2人（10.5%）、但馬1人（5.3%）、淡路1人（5.3%）、東播0人（0.0%）、高速0人（0.0%）で発生している。
- 状態別 自転車乗用中9人（47.4%）、歩行中3人（15.8%）、自動車乗車中2人（10.5%）、自動二輪乗車中2人（10.5%）、一般原付乗車中2人（10.5%）の順となっている。
- 年齢層別 65歳以上が11人（57.9%）、25～64歳が7人（36.8%）、16～24歳が1人（5.3%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が10人（52.6%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が14人で、73.7%となっている。